

医療総合学科

近年、「医療」「健康」「IT(情報科学)」と社会や環境の変化より、高度な専門知識や成果・効果などによる効率的な技術開発など、社会の多様なニーズに対応する人材養成を求められるようになってきている。

そこで本学科では、医学的要素を身に付けた医療従事者をサポートする、スポーツ・ヘルス領域での運動指導ができる指導者と、医師や医療従事者における事務的サポートができるクラーク、また地域包括ケアシステムに対応できる医療に特化したシステムエンジニアなどの人材が必要となり、業界から求められる専門知識や高度な技術を修得するための教育課程による人材養成を行う。

目的

医療・保健機関や施設などで必要とする、基礎医学と科学的根拠に基づいた専門領域(スポーツ健康科学・情報科学・医療事務【秘書】など)における高度な知識・技術を身に付け、医療従事者と連携およびサポートができる人材を養成する。

目標

1. 様々な環境・人間関係に対して柔軟に対応できるコミュニケーション力を養う
2. 幅広い知識と人間性を身につけ、他職種と連携して働くことができる基盤を養う
3. 専門性を高め、自己の能力を客観的に評価し、自己成長していける基盤を修得する
4. 多くの資格・検定試験に興味を持ち、合格できる知識を習得する

方針

「ディプロマポリシー」

- 1) 各専攻で求められる各種知識・技能を身につけ、社会・地域に貢献できる能力を有していること
- 2) 相手の立場に立った配慮・心遣いができるホスピタリティマインドを兼ね備えた能力を有していること
- 3) 他職種と協働・連携し、役割やその責務を果たすことができる

「カリキュラムポリシー」

- 1) 医学を中心として各専攻に必要な知識・技術・態度を身につける
- 2) 演習や現場での実習を通して、他職種連携に必要な協調性・柔軟性などの実践力を養う
- 3) 自ら主体的に学び、継続して努力できる能力を養う
- 4) 海外研修などの学外活動を通じ、様々な場面に必要なコミュニケーション能力を養う

「アドミッションポリシー」

- 1) 人に関心を持ち、相手の気持ちを理解しようとする人
- 2) 多くの事に興味を持ち、チームを意識できる人
- 3) 自己を理解し、自ら職業の選択ができる人
- 4) 自分の考えを表現でき、学ぶ姿勢がある人

目指す資格

ニュース時事検定、MOS 検定、ビジネス検定、**ビジネス文章検定**、日本赤十字救急基礎講習・救急員養成講習

スチューデントトレーナー中級、健康運動実践指導者、介護予防トレーナー

医療情報技師、IT パスポート、情報セキュリティマネジメント、医事コンピュータ技能検定

電子カルテ実技検定、診療報酬請求事務、医療秘書技能検定、ドクターズクラーク®（医師事務作業補助技能検定）、医師事務作業補助技能検定、医療事務技能審査試験、メディカル・フロント・コンシェルジュ、クリニック事務技能試験

就職分野

医療機関（病院・クリニック）、スポーツチーム（スポーツ団体）、教育機関（部活動）、介護施設、企業（会社）、スポーツ（フィットネス）クラブ など

付与される称号

専門士（医療専門課程）